

線を捲いて放した處が其内の二羽だけが同一地方の巢に舞ひ戻つた事を確めた。それは十九世紀の初期に行はれたる實驗であるが其後千九百一年より千九百九年に至る迄の間に米國內の各地で斯る試驗が行はれた。此の方法は渡り鳥の中で特に人類に取つて重要な種類の習性及び移動の方向を熟知するのに頗る有益なので遂に紐育市に American Bird Banding Association と云ふ團隊が組織せられ大規模に之を實行し初めたが其會の事業は昨年から政府に引き繼がれ Biological Survey の手によりて統一的に施行せらるゝ事となつた。此の實驗を行ふに就ても重要な事は精巧な罫によつて多數の鳥を生捕る事と各地で互に連絡を取つて絶へず捕獲觀察を怠らぬ様にする事とである。又鳥に記號を附する方法も色々考を要する次第であるが其詳細は U. S. Dept. Agric., Circular 170 (April, 1921) に記載されて居る。

●米國産鮭の習性

大島 正 滿

Stanford 大學で予と同窓であつた Willis H. Rich 氏は Columbia River を溯行する Chinook salmon (*Oncorhynchus tshawytscha*) の習性に就て研究を進めて居たが近頃 "Returns from the experiments on the marking of young chinook salmon on the Columbia River" (U. S. Bur. Fish. Econ. Circ. No. 45) と云ふ一文を草して其研

(雜 錄) ○米國産鮭の習性 ○ダニ類の標品製作法

究の一端を公表した。其結果によると記號を附して放流した個體の歸來する割合は意外に尠ないそうであるが放流後三年又は四年を経て歸來した個體の體鱗に現はれた同心圓の粗密の程度は明に該魚がたどり來つた経路を示し Dr. Gilbert が主張する鱗片の構造と年齢との關係を確實に裏書するそうである。又同氏の研究の結果産卵時に Chinook salmon が溯行する速力は一日平均十哩乃至十五哩である事が判明したと同時に春期に採卵孵化せしめた個體は必ず春期に産卵所に向ひ秋期に採卵孵化せしめた個體は秋期に溯行する事が確められた。春の鮭は秋の鮭よりも味がよいと云ふ事は一般の評定であつたが斯く問題が解決して見ると人工孵化を施行すべき時期に關して一道の光明が生じたわけになる。

●ダニ類の標品製作法

岸 田 久 吉

(一)ダニは何所に居るか 獸、鳥、昆蟲は言うも更也、其の外兩生類や爬蟲類に附着して居る獨特な種類もありませんし、又軟體動物の外套膜内に寄生したり鰓に附着して居るものもあります。深海の絹網海綿 (*Furraea*) に附着した儘で數百尋の海底からあがつて來たものもあります。淡鹹水汽水共にプランクトン網を曳く時に採集出來るものもあり、淡水の泥底海濱の砂中などを匍匐する種類もあります。又同一の種類でも發育中の時代に依つて習性の著しく異なるものがあるから、如何なる場所